

# 地域公共交通プライシングの新提案 － 運賃設定にまつわる固定観念を越えて－

公益社団法人 土木学会

土木計画学研究委員会

公共交通プライシング研究小委員会

# 地域公共交通プライシングの新提案 －運賃設定にまつわる固定観念を越えて－

公益社団法人 土木学会

土木計画学研究委員会

公共交通プライシング研究小委員会

幹事長 宮崎 耕輔（香川高等専門学校）

# Introduction (土木とは)

公益社団法人 土木学会によると、

- 土木とは「**市民のための工学**」あるいは「**市民の文明的な暮らしのために、人間らしい環境を整えていく仕事**」を意味する言葉

# 土木計画学への招待

## 土木計画学とは

1966年設立

土木工学における基礎部門

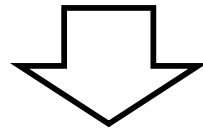
構造力学 I 分野

水理学 II 分野

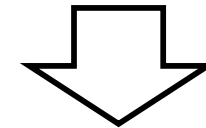
土質力学 III 分野

土木工学における応用部門  
ではなく、基礎部門

土木計画学 IV 分野



主として、  
力学、材料工学



計画数学の適用を含む、  
社会学、経済学、人文科学など  
多くの他分野の学問との関係が深い  
(学際的)

# 公共交通プライシング研究小委員会

(小委員長 加藤 博和 (名古屋大学大学院))

- 公共交通サービスは人口減少・超高齢化社会において重要な役割を果たすことが期待される一方、乗務員不足、MaaSへの対応、独占禁止法適用の見直しなど、事業を取り巻く環境が大きく変化し、マネジメントの大変革が求められている。
- これらの根底にあるのがプライシングの問題である。

# 公共交通プライシング研究小委員会

(小委員長 加藤 博和 (名古屋大学大学院) )

- 日本の公共交通事業は、「独立採算」「総括原価」に基づいたプライシングを原則としてきたが、大変革への対応が不可能となっている。
- 本小委員会では、公共交通のプライシングに関する国内外の現状と課題について俯瞰するとともに、特に**日本における今後の公共交通プライシングのあり方について議論を行い、具体的な提言へとつなげていきたい。**

# 本日のワンデイセミナー

- 小委員会で取り組んだ「地域公共交通のプライシング（運賃決定）のあり方」に関する検討結果に基づき、**サービス水準を考慮したプライシングの方法を提案し、**実際の適用に結び付けることを目的としています。

# 本日のワンデイセミナー

- 地域公共交通は、コロナ後も乗客数が以前の水準まで戻らないと言われ、さらに乗務員不足や燃料高騰などで費用がかさみ、**公的補助増加なしには維持できなくなっています**。この状況を踏まえ、「**地域にとって必要なサービス水準を精査した上で**」「**その供給に必要な費用をだれがどれだけ負担するか**」を検討する過程で**乗客の負担（運賃）を決めていく**」というアプローチを本セミナーで提案します。



# 本日のワンデイセミナー

- このアプローチによって、**地域ニーズに合った公共交通サービスを関係者の合意によって実現することが可能**となります。
- また、自治体の努力義務となった**地域公共交通計画の作成においても必要不可欠な方法論**となります。
- 参加者として、地域公共交通政策にかかわる自治体・国担当者、交通事業者、コンサルタント、研究者を想定していますが、興味をお持ちの方はだれでもご参加いただけます。

# 本セミナーの流れ

- 地域公共交通プライシングに関する我々の考え方
  - 太田 恒平 ((株)トラフィックブレイン)
    - 問題提起
  - 加藤 博和 (本小委員会 委員長, 名古屋大学大学院教授)
    - サービス水準設定を起点とした運賃設定の枠組み  
(～協議運賃制度の活用を念頭において～)
  - 喜多 秀行 (神戸大学名誉教授)
    - サービス水準設定の考え方
  - 大井 尚司 (大分大学教授)
    - 地域公共交通の費用と負担
  - 遠藤 俊太郎 ((一財)交通経済研究所)
    - 海外の地域公共交通プライシング

# 本セミナーの流れ

## ● ディスカッション

- 今釜 卓哉 (九州産交バス(株))
- 太田 恒平 ((株)トラフィックブレイン)
  - 熊本での実践を踏まえた本提案の評価
- 何 功 ((一財)計量計画研究所)
  - いくつかの地域での実践を踏まえた本提案の評価
- 正司 健一 (神戸大学名誉教授)
  - 本提案に対するコメント

## ● 質疑応答